

【】中学社会歴史：室町時代：商工業の発達・土一揆 [\[FdText : 中学・塾用ワープロデータ教材\]](#)

[要点]

- (1) 鎌倉時代から室町時代にかけて、牛馬による耕作や二毛作にもうさくが広まり、田に水を引くための水車も利用された。
- (2) 戦乱が続くと、名主みょうしゅと農民も力を合わせて村を守り、村の寄合よりあいに農民が参加するようになり、村のおきてを定め、違反者をきびしく罰した。このような農村の自治組織を惣そうという。
- (3) 名主の中には武士になるものもあらわれ、地侍じざむらいと呼ばれた。
- (4) 商工業も盛んになり、日を決めた定期市が各地で開かれるようになった。また、商工業者は座ざという同業者の組合を作った。金融業も盛んになり、土倉どくら/どそうと呼ばれた質屋や酒屋が金貸し業を営んだ。
- (5) 運送業も発達し、港町には、倉庫をかまえた問丸といまるが年貢の輸送・保管にあたった。また、陸上では馬借ばしゃくや草借くさしゃくと呼ばれる運送業者が活躍した。
- (6) 1428年近江の馬借や京都の農民が京都に入り、幕府に徳政令とくせいれいを出すことを要求し寺院や土倉をおそった。この事件を正長しょうちやうの土一揆という。

[A問題：要点確認]

- (1) 鎌倉時代かまくらから室町時代むろまちにかけて、牛馬による耕作や()作が広まり、田に水を引くための水車も利用された。
- (2) 鎌倉時代かまくらから室町時代むろまちにかけて、()による耕作や二毛作にもうさくが広まり、田に水を引くための()も利用された。
- (3) 戦乱が続くと、名主みょうしゅと農民も力を合わせて村を守り、村の寄合よりあいに農民が参加するようになり、村のおきてを定め、違反者をきびしく罰した。このような農村の自治組織を()という。
- (4) 戦乱が続くと、()と農民も力を合わせて村を守り、村の()に農民が参加するようになり、村のおきてを定め、違反者をきびしく罰した。このような農村の自治組織を惣そうという。
- (5) 名主みょうしゅの中には武士になるものもあらわれ、()と呼ばれた。
- (6) 商工業も盛んになり、日を決めた()市が各地で開かれるようになった。また、商工業者は座ざという同業者の組合を作った。金融業きんゆうも盛んになり、()と呼ばれた質屋や酒屋が金貸し業を営んだ。
- (7) 商工業も盛んになり、日を決めた定期市が各地で開かれるようになった。また、商工業者は()という同業者の組合を作った。金融業きんゆうも盛んになり、土倉どくら/どそうと呼ばれた質屋や()が金貸し業を営んだ。

- (8) 運送業も発達し、港町には、倉庫をかまえた()が年買の輸送・保管にあたった。また、陸上では()や車借と呼ばれる運送業者が活躍した。
- (9) 運送業も発達し、港町には、倉庫をかまえた問丸が年買の輸送・保管にあたった。また、陸上では馬借や()と呼ばれる運送業者が活躍した。
- (10) 1428年近江の馬借や京都の農民が京都に入り、幕府に徳政令を出すことを要求し寺院や土倉をおそった。この事件を()の土一揆という。
- (11) ()年近江の馬借や京都の農民が京都に入り、幕府に()令を出すことを要求し寺院や土倉をおそった。この事件を正長の土一揆という。

[B問題]

- (1) 室町時代の農村の自治組織を何というか。
- (2) 農民は村ごとに()という自治的な組織を作った。
- (3) 室町時代の農民は自治的な組織を作り、会合を開いて村のおきてなどを定めたりした。この会合を何というか。
- (4) 名主の中には武士になるものもあらわれたが、何と呼ばれたか。
- (5) 金貸しを営んだ質屋は何と呼ばれたか。
- (6) 港町に倉庫をかまえ、年買などの輸送・保管を行った運送業者を何というか。
- (7) 陸上の運送業者を2つあげよ。
- (8) 朝廷、寺社などが通行料を取るために各地に設けたものは何か。
- (9) 商工業者は同業者ごとに何という組合を作ったか。
- (10) この時代の貨幣は、中国のどの王朝から輸入されたものが多かったか。
- (11) 農民より一段低い身分とみられていた人々の間からも優れた芸能や技術で文化を向上させる者も出た。荘園などに住み公家や寺社に奉仕した(A)や、河川近くに住み芸能や庭園工事に従事した(B)などがある。
- (12) 惣を中心に団結を固めた農民が、年買の軽減などを要求しておこした反抗が発生した。これを何というか。
- (13) 近江の馬借や京都の農民がおこした土一揆は何か。
- (14) 正長の土一揆は何年か。
- (15) 正長の土一揆を起こした農民などが幕府に対して要求したことは何か。

- [解答] (1) 惣 (2) 惣 (3) 寄合 (4) 地侍 (5) 土倉 (6) 問丸 (7) 馬借 車借
 (8) 関所 (9) 座 (10) 明 (11) A 敵所 B 河原者 (12) 土一揆 (13) 正長の土一揆
 (14) 1428年 (15) 徳政令を出すこと

[C問題]

- (1) 麦などを裏作とする(A)が広まり, 耕作のときに(B)を使ったり, かんがい(C)
を使用することも多くなった。
- (2) 桑, 漆^{くわ}, 茶^{うし}などの(A)作物が栽培されるようになり, 16世紀には(B)の栽培が始まっ
た。
- (3) 酒屋・土^{どくろ}倉^{どそう}・寺院などはどのような仕事をしていたか。
- (4) 手工業も発達して専門の職人が多くなり, 京都の(A), 瀬戸^{せと}の(B)などの特産品も増え
た。
- (5) 取引に使われたお金にはどのようなものがあったか。2つあげよ。
- (6) この時代, 衣服では()が用いられた。
- (7) 寺社の門前の市が発達して()町ができた。

- [解答] (1) A 二毛^{にもうさく}作 B 牛馬 C 水車 (2) A 商品 B 綿 (3) 金貸し (4) A 絹織物 B 陶器
(5) 宋^{そう}銭^{せん} 明^{みん}銭^{せん} (6) 小^こ袖^{そで} (7) 門^{もん}前^{ぜん}町^{まち}

[印刷 / 他の PDF ファイルについて]

このファイルは、FdText 社会(6,200 円)を PDF 形式に変換したサンプルで印刷はできないようになっています。製品版の FdText 社会は Word(または一太郎)の文書ファイルで、印刷・編集を自由に行うことができます。さらに、製品版には、この問題解答一体形式のほかに、問題解答分離形式を収録していますので、購入後、ただちに印刷して使うことができます。

FdText 社会の全 PDF ファイル、他の科目(数学・英語・理科・国語)の各 PDF ファイル、および製品版の購入方法は、<http://www.fdtype.com/txt/index.html> に掲載しております。

下図のような、[FdData 無料閲覧ソフト(RunFdData)]を、お使いになっている Windows にインストールすれば、FdData 中間期末・FdData 入試の全 PDF ファイルを閲覧することができます。この PDF ファイルは、印刷・編集はできませんが、試験前に、画面を見ながら目で問題を解いていただいても一定の学習効果が期待できます。

[FdData 無料閲覧ソフト]ダウンロードのページ：<http://www.fdtype.com/lnk/dwn2.html>

